



大雨の3日前

●自宅周辺の危険箇所や避難場所を確認

ハザードマップで自宅周辺の危険箇所を確認し、安全な避難ルートを考えておきましょう。

また、家族や近所の人と一緒に避難場所や連絡方法を確認しておきましょう。

「洪水」「土砂災害」「津波」のハザードマップや、学区ごとの避難場所、防災拠点などの情報を記載した防災マップは、防災対策課にある他、市のホームページからダウンロードできます。



市ホームページ



大雨による避難行動の例

地震、台風、集中豪雨などによる自然災害は毎年のように発生し、各地で多くの被害が出ています。自然災害による被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが災害や防災対策について正しい知識を身に付けて、いざというときに落ち着いて、的確な行動をとることが重要です。

今年の7月3日にも、熱海市で大雨による大規模な土砂災害が発生しましたが、これから季節は台風が多く発生し、集中豪雨などの風水害に更に注意が必要となります。災害への備えをもう一度確認しましょう。

災害への備え

日ごろから備えておきましょう！



防災対策課
北原主事

いざという時のため、水や非常食を備えておきましょう！



Q

非常備蓄品として、
飲料水はどのくらい必要になる？

A

飲料水は大人一人当たり1日3ℓが目安です。
最低3日分（できれば1週間分）は用意しましょう。

Q

非常食は何をどのくらい準備すればいい？

A

缶詰、レトルト食品、乾パン、アルファ米など、火を通さずに食べられるものを、最低3日分（できれば1週間分）は用意しましょう。

災害から大切なご自宅を守るために、ぜひ「安全・安心・住まいの助成制度」をご活用ください！



耐震対策

昭和56年5月31日以前に建築確認を受けて建築した2階建て以下の木造戸建て住宅を対象に、耐震診断・耐震改修などを行う場合の費用を助成します。

- 耐震診断（助成率15/16・限度額3万円）
- 耐震改修計画・耐震改修一括助成（助成率4/5・限度額100万円）

浸水対策

次の工事の費用を助成します。

- 住宅への浸水を防ぐため、門扉や出入り口などに防水板を設置する工事（助成率3/4・限度額30万円）
- 過去に床上浸水の被害を受けた住宅のかさ上げ工事（助成率3/4・限度額300万円）

必ず工事の契約前に申請書を提出してください。

*詳しくは下記QRをご覧になるか、問い合わせてください。



市ホームページ

問合せ

都市政策課住政策推進室
内線247

大雨当日

大雨の1～2日前

●避難開始

市役所からの避難情報などを踏まえ、避難を開始します。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、避難所には次のものを持参しましょう。

- マスク ■体温計
- スリッパ ■消毒液

「避難」とは「難」を「避」けることです。小・中学校などの公共施設に逃げることだけが避難ではありません。親戚や知人の家などで安全な場所がある場合は、避難先として考えておきましょう。

●気象情報や市役所からの情報に注意

防災無線やテレビ、ラジオ、インターネットなどにより、気象情報や市役所からの情報を収集し、避難に備えます。

防災無線確認ダイヤル TEL 22-6131

防災無線の放送内容を電話で確認することができます。放送を聞き漏らしてしまったときなどにご利用ください。

スマートフォン向けアプリ「ひたちナビ」

防災に関する情報を自動的に取得できます。



iPhone



Android

●非常持ち出し品の確認

避難時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。

10月以降に、市内全世帯に防災グッズ入りの非常用持出袋を順次配布する予定です。詳しくは改めてお知らせします。

